

「JIFMA SDGs」のメッセージの発信をスタートしました。
日本工業炉協会のSDGsへの取り組みを今後ホームページにてお伝えしていきます。



持続可能な 未来を拓く 工業炉業界

SDGsとは

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

一般社団法人日本工業炉協会では、このSDGsの趣旨に賛同し、
私たちが工業炉から持続可能な社会づくりに貢献できることとして、
下記8つのゴールを重点目標と定め、
アクションを起こし、メッセージを発信しております。

	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		全ての人に健康と福祉を
	産業と技術革新の基盤をつくろう		質の高い教育をみんなに
	つくる責任つかう責任		ジェンダー平等を実現しよう
	気候変動に具体的な対策を		働きがいも経済成長も